

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

		事業名	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
1 職業能力開発を目的とした事業							
政策8 人材の育成・確保							
		(1)職業訓練	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	1	【学卒者】津高等技術学校普通課程	県	学卒者訓練(2ヶ年)	44名/70名(1年) 40名/70名(2年)	36名/60名(1年) 33名/70名(2年)	令和6年度より科目の見直しを行い、DX社会に対応できるICTエンジニア科と産業技術科を設置し、令和7年度より産業技術専攻科を設置し多様な訓練を提供する。
	2	【離職者】津高等技術学校短期課程	県	離職者等訓練(施設内訓練) ・施設内5科(4ヶ月～6ヶ月) ・金属成形科(外国人、6ヶ月) ・OA事務科(身体障がい者、1ヶ年、令和5年度から6ヶ月) ・アーキデザイン科(1ヶ年)令和5年度開講	64名/126名※ 16名/ 20名 10名/ 20名 10名/ 10名 ※ほか受託生15名	51名/88名※ 11名/20名 6名/20名 9名/10名 6名/10名 ※ほか受託生11名	令和6年度に、増加する外国人対象の自動車板金・塗装科を新たに設置し、外国人への安定した就労支援を継続して提供します。
	3	【離職者】委託訓練	県	・民間教育訓練機関等への委託による離職者訓練(3～4ヶ月) ・介護福祉士養成科(2年) ・保育士養成科(2年) ・栄養士養成科(2年) ・製菓衛生師養成科(2年)令和5年度開講	・3～4ヶ月訓練 492名/680名(47コース) ・介護福祉士 18名/28名(1年生) 18名/24名(2年生) ・保育士 17名/20名(1年生) 12名/17名(2年生) ・栄養士 5名/5名(1年生) 5名/5名(2年生) ・製菓衛生師 3名/3名(1年生)	・3ヶ月訓練 328名/465名(32コース開講) ・介護福祉士 16名/30名(1年生) 18名/28名(2年生) ・保育士 16名/23名(1年生) 17名/20名(2年生) ・栄養士 5名/5名(1年生) 5名/5名(2年生) ・製菓衛生師 3名/3名(1年生) 3名/3名(2年生)	引き続き3～4カ月委託訓練で、パソコン・事務系・介護系・医療事務系の各分野で専門的なスキルが必要とされる職種や、離職者の受講ニーズの高い訓練を実施する。またデジタル分野の人材不足に対応したコース設定や定住外国人対象の訓練についても検討していく。 長期高度人材育成コース(2年制)についても、各分野の業界団体から定数増員の要望が出され、人材不足職種における資格取得が必須となる人材育成コースが不可欠であり、前年度同様の各養成科を設置する必要がある。
	4	【在職者】地域人材開発センター(津高等技術学校内)	県	在職者訓練(玉掛け、ガス溶接、アーク溶接)	計画554人に対して受講者369人	計画390人に対して受講者233人(令和6年度の年度計画は536人)	中小企業の社員を対象として、NC機器の操作に関する講習を実施した。また、リスキリング訓練を取り入れることで生産性の向上を図る支援を継続して行う。
	5	母子家庭の母等訓練	県	就労経験のない又は就労経験に乏しい、いわゆる長期失業状態にある母子家庭の母等を対象に職業的自立を促進するための訓練を行う。	1名/10名	0名/10名	例年5コース程度設定している。制度に合致するケースは少ないが、若干名でも該当者が存在するので制度として継続する。
	6	託児サービス付き訓練	県	就学前児童の保護者で職業訓練を受講することによって児童の保育ができない方を対象に託児サービス付き訓練を行う。	2名/10名	1名/10名	制度の利用者数は多くないが、子育て世代の労働力の確保の一助として、制度を活用し就職につなげていることもあり継続する。
	7	障がい者委託訓練	県	障がい者の態様に応じた多様な委託訓練を行う。	53名	14名	引き続き、地域の事業所等へ訓練委託し、障がい者の実践能力の習得と一般就労をめざしていく。
	8	職業訓練指導員に対する研修	県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	職業能力開発総合大学校等の指導員向け研修の計画的受講	【津高技】17名 【機 構】41名 階層別含む	【津高技】12名 【機 構】43名 階層別含む	【津高技】大学や民間企業で提供される最新の研修プログラムを受講し、DXやFAの進化に対応できる高度な専門知識と技術を持つ指導員を継続して育成する。 【機 構】地域ニーズを踏まえた訓練や、DX、GXに対応した訓練を実施できる人材の育成や、職業訓練に付随する業務のスキル向上を目指した階層別研修の受講にも取り組む。

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

			事業名	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
		9	認定訓練校への助成	県	中小企業事業主等が従業員に対して実施する訓練への助成	支給件数 9件 支給金額 19,990,390円	支給件数 9件 支給金額 24,510,732円	引き続き、技能労働者の育成・確保・職場定着が図られるよう、中小企業事業主団体等が行う認定職業訓練事業の訓練経費等の一部を助成していく。
1 職業能力開発を目的とした事業								
政策8 人材の育成・確保								
(1)職業訓練								
			(参考)関係機関の取組	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
		1	離職者訓練(施設内)	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	ポリテクセンターにおける離職者訓練(施設内訓練) 【三重(四日市)】 住宅リフォーム技術科、テクニカルオペレーション科、CAD/NC技術科、溶接技術科、電気保全技術科、電気設備技術科、電気施工技術科【伊勢】 ものづくり溶接科、機械・CAD科、電気設備技術科、住宅リフォーム技術科、ものづくりアシスト科	受講者493名／定員601名 (橋渡し訓練 受講者53名／定員52名 含む)	受講者352名／定員593名 (橋渡し訓練 受講者30名／定員52名 含む)	ものづくり分野の職業訓練を実施し、地域の人材ニーズに応えるとともに、DX、GX等を取り入れた訓練の高度化を図る。また、インターネットを活用した広報や、雇用保険初回説明会等において職業訓練の有用性を発信し、求職者への受講メリットを伝えていく。
		2	能力開発セミナー	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	ポリテクセンターにおける在職者訓練 居住系、機械系、電気・電子系、管理事務	受講者943名	受講者760名	職業訓練指導員のDX、GX対応力向上を図りつつ、地域のニーズ調査を踏まえたDX、GX対応コースの企画、実施を推進する。
		3	求職者支援訓練	国	主に雇用保険を受給できない離職者が職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を実現するために国が支援する訓練	コース数 41コース 受講者数 362名	コース数 29コース 受講者数 306名	デジタル系や人材ニーズの高い介護系等の各訓練コースの確実な設置及び受講者確保、丁寧な就職支援を徹底する。
		4	地域職業能力開発促進協議会	国	関係機関との協議のうえ、公的職業訓練を実施する分野や規模等に関する年度計画(総合計画)を策定する。	年2回開催 第1回 11月17日 第2回 3月13日	年2回開催 第1回 11月19日 第2回を3月に開催予定	訓練効果の検証や実施状況の報告、構成員からの意見等を踏まえ、効果的な訓練計画を策定する。
		5	教育訓練給付金	国	在職者等がキャリアアップのために行う様々な資格取得について受講費用の一部を本人に支給する。	一般教育訓練 1,131人 39,900千円 専門実践教育訓練 1,041人 127,709千円	一般教育訓練 734人 28,315千円 専門実践教育訓練 848人 117,776千円	リカレント教育への関心度が高まっているため、制度利用者は拡大しているが、令和6年10月に制度改正が行われたこともあり、引き続きハローワークを中心に制度周知を図っていく。
		6	人材開発支援助成金 (旧キャリア形成促進助成金)	国	従業員の能力開発を計画的に実施した場合や、人材開発制度を導入した事業主に訓練経費や賃金等の一部を助成する	1,369件 161,929千円	855件 103,624千円	引き続き労働局、ハローワークにおける重点周知対象として広く周知を行っていくとともに、平行して不適正な支給に対する強化も図っていく。
		7	キャリアアップ助成金	国	非正規雇用の労働者の企業内でのキャリアアップ等を促進するため、これらの取組を実施した事業主に対して助成を行う	614件 383,093千円	445件 264,361千円	前年度に施行された社会保険適用時処遇改善コースを中心に重点的に周知を進めるとともに、他コースも含め適正な支給となるよう、事業主に必要な支援、指導を行っていく。
		8	介護労働講習	介護労働安定センター	介護労働講習(実務者研修450時間を含む)は、平成25年度から実践力を備えた介護人材の育成と介護福祉士国家試験の受験資格を満たすための支援を図るため雇用保険受給者を対象に約6ヶ月間実施する	28名修了(定員38名)	39名修了(定員40名)	定員確保が課題であり、介護職の担い手不足の状況下においては、介護職が魅力ある職場づくりを業界全体の課題として位置づけ、介護労働講習(実務者研修を含む)の持っている優位性をPRし、受講者確保に努めるとともに、受講者の介護業界への就職率90%以上を目標とする。

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

		事業名	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	9	生活援助従事者研修	介護労働安定センター	生活援助従事者研修(介護職員初任者研修130時間のうち、生活援助中心に59時間を学ぶ)は、令和元年度から生活援助中心型のサービスに従事する者の裾野を広げるとともに、担い手の質を確保できるようにするため、必要な知識等を習得することを目的として、生活援助中心型のサービスに従事する者を養成する研修11日間と職場見学(就職支援)を実施する	6名(定員15名)	第1回 6名修了(定員15名)紀南地域 第2回 令和7年2月開講予定 津地域	在宅介護の支援の充実を図るため介護関係資格取得の前段として短期間で取得可能な生活援助従事者研修の資格をより一層PRする必要がある。
	10	試験対策講座	介護労働安定センター	・介護支援専門員実務研修受講試験対策講座 ・介護福祉士試験対策講座 ・介護福祉士試験対策講座(模試+解説) ・介護支援専門員実務研修受講試験対策講座(模試+解説)(R1から)	試験対策コース:受講者13名 模擬試験コース:受講者 8名	試験対策コース:受講者 8名 模擬試験コース:受講者12名	介護福祉士試験対策講座を実施してきているが、募集定員の確保が課題として挙げられる。受験費用等の事業所負担が広がってきているが、この講座も行政や事業所より本人の負担軽減となるよう支援策を検討していただきたい。
	11	資格取得講習	介護労働安定センター	・同行援護従事者養成研修一般課程(R2から1回開催に) ・同行援護従事者養成研修応用課程	・一般課程:受講者23名 ・応用課程:受講者17名 ・1号、2号研修一般:中止 ・1号、2号研修免除コース:受講者10名	一般課程:令和5年12月開講予定 応用課程:令和6年1月開講予定 ・1号、2号研修一般:13名 ・1号、2号研修免除コース:受講者7名	・同行援護従業者養成研修については、視覚障害者の社会参加のために、サービス提供による報酬前提としたものではなく、社会全体で支えるための仕組み作りの一環として、幅広に当該研修をアピールしていくことが定員確保に繋がる手段と考えられる。令和7年度からの制度改正によりカリキュラムの変更に伴い、引き続き、制度を周知していく。 ・喀痰吸引等研修は、介護職員が吸引等の行為を行う為に必要な資格であることを介護事業所等に周知し、オンラインを活用するなど、参加しやすい環境作る等して、定員確保につなげる。
1 職業能力開発を目的とした事業							
政策8 人材の育成・確保							
	(2)技能振興		実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	1	技能検定	県、三重県職業能力開発協会	技能のレベルを評価する国家検定を実施する。	特級:182名 1級:644名 2級:953名 3級:294名 単一等級:6名 随時2級:409名 随時3級:850名 基礎級:2,430名	(見込) 特級:152名 1級:684名 2級:866名 3級:204名 単一等級:6名 随時2級:159名 随時3級:780名 基礎級:1,372名	随時2級試験について、公示職種を今後も増やしていく必要がある。
	2	三重県技能者表彰	県	優秀な技能者を知事名で表彰する。	表彰者数 優秀技能者の部:9名 中堅優秀技能者の部:9名 青年優良技能者の部:1名	表彰者数 優秀技能者の部:9名 中堅優秀技能者の部:6名 青年優良技能者の部:4名	推薦していただける企業が少なく、また、被推薦者も年々減少している。本事業の意義について周知を強化しつつ、手続きを分かりやすいものにするなど、推薦が活発になるよう工夫していく。
	3	職業能力開発促進大会	県、三重県職業能力開発協会、三重県技能士会	厚生労働大臣表彰受賞者の紹介や三重県知事表彰(優秀技能者など)の表彰、職業訓練校訓練生による取組の発表等	R5.11.27開催 参加者62名	R6.11.18開催 参加者89名	表彰や体験発表などの取組によって職業能力の開発と技能の向上を図り、広く技能が尊重される社会をめざして、今後も職業能力開発促進大会を開催していく。
	4	アビリンピックみえの開催	県、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発協会	障がい者が培った技能を競い合い、職業能力の向上を図る。	7競技、52名	7競技、59名	引き続き、障がい者の職業能力の向上を図るとともに、障がい者に対する社会一般の理解を深め、障がい者雇用の促進を図っていく。
	5	技能体験学習事業	県	子どもを対象に技能体験学習講座を実施し、ものづくりへの関心を高める。	技能体験学習:5回 受講者延べ105名 ものづくりイベントにおける技能体験講座:40回 受講者延べ862名	昨年度とほぼ同規模で実施中	子どもが技能を体験できる機会が減少している。子どものものづくりへの関心を高めるため、今後も体験の機会の提供を続けていく必要がある。

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

		事業名	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	6	地域産業担い手の技能者育成事業	県	県内職業系学科の生徒への技術指導、技術者による県内高校での講演会、県内工業高校生徒の企業内研修施設での研修を実施	企業内研修:3企業 受講者延べ46名 県内職業系学科高校生等への技術指導:28回 受講者延べ152名 講演会:2回 受講者延べ142名	昨年度とほぼ同規模で実施中	引き続き、県内職業系学科高校生の技術・技能の向上を推進できるよう地域企業と連携した人材育成を行っていく。
	7	高度熟練技能後継者育成事業	県	高度技能者育成研修会、中堅技能者育成研修会の実施	高度技能者育成研修会:3回 受講者延べ71名 中堅技能者育成研修会:2回 受講者延べ18名	昨年度とほぼ同規模で実施中	引き続き、高度技能者や中堅技能者の育成を行っていく。
	(参考)関係機関の取組		実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	1	若年者ものづくり競技大会	中央職業能力開発協会	工業高校や職業能力開発校で技能習得中の20歳以下の若年者の技能競技会	第18回 若年者ものづくり競技大会の入賞者 銅賞 1名 敢闘賞 2名	第19回 若年者ものづくり競技大会の入賞者 銀賞 1名 敢闘賞 1名	第20回 若年者ものづくり競技大会は令和7年8月に香川県にて開催予定
	2	技能五輪国際大会、全国大会	中央職業能力開発協会	青年技能者の技能レベルを争うことで、努力目標を与えるとともに、国民に技能の重要性をアピール	第61回技能五輪全国大会の入賞者 銀賞 1名 敢闘賞 2名 技能五輪国際大会は隔年開催のため実施せず	第62回技能五輪全国大会の入賞者 金賞 1名 第47回技能五輪国際大会はフランス・リヨンで9月10日から15日で開催	第63回技能五輪全国大会は令和7年10月に愛知県にて開催予定 第48回技能五輪国際大会は令和8年9月に中国・上海にて開催予定
	3	技能グランプリ	中央職業能力開発協会、全国技能士会連合会	1級技能士等による技能競技大会	第32回技能グランプリが令和6年2月23日～26日で開催 金賞 2名 銀賞 1名 銅賞 1名 敢闘賞 1名	隔年開催のため実施予定なし	第33回技能グランプリは令和7年度開催予定(隔年開催のため)
	4	現代の名工	国	優秀な技能者を大臣名で表彰する。	表彰者数 0名	推薦者数 0名	例年数名の卓越した技能者を県内から輩出しているが、企業からの推薦が減少傾向にあるため、今後は、より多くの企業から推薦がいただけるよう周知に努める。

1 職業能力開発を目的とした事業

政策8 人材の育成・確保

(3)多様な人材の能力発揮支援等			実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
	1	就労前スキルアップ事業(若年無業者ジョブエスコート事業)	県	ニートなど若年無業者等(就職氷河期世代含む)の職業的自立のため、若年無業者の就労支援機関(地域若者サポートステーション)において、就労前スキルアップ訓練や就労支援を通じた人材育成を実施する。	就労前スキルアップ訓練:268件 就労体験件数(常設型受入施設で就労体験を含む):370件 社会体験件数:274件	就労前スキルアップ訓練:171件 就労体験件数(常設型受入施設で就労体験を含む):238件 社会体験件数:176件	令和2年度に若年無業者に加え就職氷河期世代(令和6年度:概ね38歳から53歳)を対象に追加した。令和7年度より対象者をこれまでの就職氷河期世代に加え、中高年世代についても拡充したうえで、就労体験や社会体験等を実施していきます。
	2	女性の就業促進事業(第3期地域活性化雇用創造プロジェクト)	県	子育て期等の女性の就職促進を目的に、女性求職者を対象としてスキル取得研修とキャリアカウンセリングを実施するほか、県内企業との交流の場を設ける。また、SNSで就職支援情報や未経験分野で再就職に成功した女性の実例等を発信し、就職に繋がる機会を提供する。	スキルアップ研修受講者:延べ104名 セミナー受講者(再チャレ応援、伝え方・話し方):延べ66名 企業との交流会受講者:19名 就職相談:延べ27名 SNSによる情報発信:162投稿	令和6年6月24日から募集開始	引き続き、自らが望む就業形態での就労実現を支援するため、各種就労支援を実施するとともに、SNSを活用して女性の活躍事例等を発信します。
	3	ステップアップカフェを活用した就労体験	県	ステップアップカフェ「だいたい食堂」において、障がい者の実践的な就労体験などに取り組む。	11名	0名	12月18日にステップアップカフェの運営を終了。障がい者スタッフは、一般就労へ移行。

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

		4	事業名 高度人材育成支援事業(第3期地域活性化雇用創造プロジェクト)	実施機関 県	事業概要 県内中小企業における高度・専門人材の育成を目的に、企業が実施する従業員に対する人材育成研修にかかる費用の一部を支援する。	R5実績 補助事業者数 27社	R6実施状況(R6.11月末時点) 令和6年4月17日から募集開始 令和6年12月27日まで申請受付	今後の課題・方向性・計画等 令和6年度で地プロ第3期が終了することに伴い、当事業は廃止予定です。							
			(参考)関係機関の取組	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等							
			1	障がい者に対する職業評価及び職業準備支援	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構三重障害者職業センター	職業能力等の評価に基づき、職業選択や職場定着に向けた相談、助言のほか、職業に関する知識習得や技能向上などの職業準備支援を行う。	利用障害者数 371名 職業準備支援開始者数 31名	利用障害者数 307名 職業準備支援開始者数 20名	精神障害者、発達障害者、高次脳機能障害者等に対する就労支援の一層の充実を図る。						
政策14 教育				実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等							
		1	未来へつなぐキャリア教育推進事業	県、市町(教育委員会)	小・中・高等学校におけるキャリア教育として、次のことに取り組む。 ・地域で活躍する職業人や卒業生等を招いた出前授業、異なる校種と連携した取組を実施する。 ・地域に魅力のある産業や事業所があることについて児童生徒や教員の理解を深める機会を創出する。	・地域で活躍する職業人や卒業生等を招いた出前授業(小学校6校、中学校3校) ・地域の事業所と連携したキャリア教育(高等学校8校) ・異なる校種との連携(高等学校9校) ・商工会議所と連携した職場見学、就業体験等(小学校数校、中学校9校、高等学校10校)	・地域で活躍する職業人や卒業生等を招いた出前授業(実施予定:小学校5校、中学校5校) ・地域の事業所と連携したキャリア教育(実施予定:高等学校5校) ・異なる校種との連携(実施予定:高等学校4校) ・商工会議所と連携した職場見学、就業体験等(小学校数校、中学校10校、高等学校10校)	進学希望者が多い普通科で学ぶ生徒が、将来の生き方や職業について考えを深め、自らの進路選択につなげられるよう、県内企業で活躍する職業人から話を伺う機会や、県内企業の訪問等、地域の企業・産業について理解を深める機会の拡充に取り組む。							
									2	特別支援学校におけるキャリア教育	県(教育委員会)	・企業、関係機関等と連携した技能検定を実施する。(清掃技能検定、看護・介助業務補助技能検定) ・肢体不自由のある生徒が、テレワーク等の新しい就労形態について理解を深められるよう、ICTを活用した就労体験を実施する。	・清掃技能検定(県主催:令和5年10月31日実施) ・看護・介助業務補助技能検定(県主催:令和6年1月23日実施) ・ICTを活用したテレワーク体験(令和6年1月24日実施)	・清掃技能検定(県主催:令和6年11月21日実施) ・看護・介助業務補助技能検定(県主催:令和7年1月実施予定) ・ICTを活用したテレワーク体験(令和6年9月11日、令和6年9月18日、令和6年9月25日実施、令和7年1月実施予定)	将来の職業自立に向けて必要となる能力や態度の育成を図ることを目的として、各種技能検定を引き続き実施していく。また、テレワークや短時間勤務等の新しい働き方や技能に対応した就労先の開拓や就労支援を進める。
2 職業能力開発を促進する事業(主なもの)															
政策7 産業振興															
			(1)成長分野における高度人材の育成	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等							
		1	高度ものづくり技術人材育成事業(第3期地域活性化雇用創造プロジェクト)	県	次世代自動車産業等で必要とされている軽量化ニーズにおいて、マルチマテリアル化、新素材活用等の最新加工技術講座やQCD改善に繋がる高度ものづくり技術講座を開催すると共に、希望企業には関連課題に対する技術専門家を派遣し、人材育成を支援する。	・軽量化技術習得講座のべ191名参加(4講座) ・製造技術高度化支援講座のべ163名参加(4講座)	・軽量化技術習得講座 令和6年8月～11月までに4講座開催のべ参加:168人・56社・事業所 ・製造技術高度化支援講座 令和6年9月～令和7年1月までに4講座開催予定のべ154人・50社・事業所(2講座)	引き続き、EV(電気自動車)等の次世代自動車産業などの先端産業で必要となる最新技術の習得等にかかる講座を開催し、企業の人材育成を促進、支援する。							
									2	コンビナートプラント運営人材育成事業(第3期地域活性化雇用創造プロジェクト)	県	脱炭素社会への対応など、コンビナートを取り巻く環境の変化に対応したプラント運営や施設メンテナンス等を内容とする講座を開催し、コンビナートプラント運営人材の育成を支援する。	のべ243社・事業所・705名参加(※実参加:58社・事業所・340名参加)	化学工業及びその関連産業向け講座 令和6年9月～令和7年2月までに10講座開催予定のべ479人・42社・事業所(5講座)	引き続き、石油化学・コンビナート産業を取り巻く環境変化に対応したプラント運営・施設メンテナンス・防災や、カーボンニュートラル等の視点も採り入れた講座を開催し、企業の人材育成を促進、支援する。

令和6年度三重県職業能力開発関係事業一覧表

			事業名	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
		4	withコロナ時代に適応した販路開拓支援のための人材育成事業(第3期地域活性化雇用創造プロジェクト)	県	食関連事業者を対象に、地域ブランドを活用した販売戦略を展開できる人材を育成するための連続講座を開催する。	R5. 9. 14及び10.26に流通アドバイザーによる現地指導を実施。SMTS事前研修を実施。(計36社)	R6. 9. 10～11及び10.8に流通アドバイザーによる現地指導を実施。R6.10.9に商談会実践研修の個別相談を実施。R7.3のFOODEX JAPAN2025に向けた事前研修を実施予定。(計53社)	引き続き、地域ブランドを活用した販売戦略を展開できる人材育成を実施する。
政策10 デジタル社会の推進								
			(1)多様な主体が取り組むDXの支援	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
		1	DX人材育成事業	県	県内企業等がDXに取り組んでいただけるよう、幅広く担当者から経営者を対象に、さまざまなテーマを設定したDX人材育成セミナーを開催する。	受講者620名/定員540名	令和6年9月～ 順次開始。リテラシセミナー全20講座開催予定 ハンズオン研修全3コース開催予定	引き続き、県内企業等におけるDX人材の育成を支援する。
政策13 福祉								
			(1)ひとり親の支援	実施機関	事業概要	R5実績	R6実施状況(R6.11月末時点)	今後の課題・方向性・計画等
		1	高等職業訓練促進給付金 母子父子寡婦福祉資金貸付金	県、市町	母子家庭の母および父子家庭の父が看護師等の資格取得を行う場合や主体的な能力開発を行う場合に助成や貸付を行う。	高等職業訓練促進給付金 108件 117,425千円 母子父子寡婦福祉資金貸付金 7件 3,371千円	高等職業訓練促進給付金 89件 59,969千円 母子父子寡婦福祉資金貸付金 1件 1,050千円	引き続き制度利用者の増加を図っていく。